

硬筆指定課題 評価の観点

《小4》 大平恵理 書

始めに、しせいとえんぴつの持ち方をたしかめます。

正しく整って書けているか、が大切です。「止め・はね・はらい、線の長さ」と方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線のつき方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気を付けて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

た	楽	
め	は	
太	心	
切	中	
ま	全	
す	部	

※「筆圧」とは、えんぴつの先から紙に伝わる力のことです。



漢字は大きめ、ひらがなは小さめ、画数の多い文字は大きめ、少ない文字は小さめです。外形も考えて、読みやすく書くようにしましょう。

①	②	
楽	楽	
し	し	
い	い	
中	中	
に	に	
全	全	
部	部	

※次のむすび方でもよい。「ま」

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

小四